

2024年(令和6年) 6月 12日(水) 第33回例会(通算3015回)

2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪を広げよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之
直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA) 委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度RI会長テーマ

RI会長：ゴードンR.マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥157

八重山の民謡

クン ーラ
古見ぬ浦 節 (二揚)

※古見村は、西表島の東部に於ける一部落で古見の浦と称する小港があった。人口は1737年に744人・1771年には838人に増加し八重山行政官の次位に当たる首里大屋子職を置く程の大部落であった。八重岳は古見岳の事で高さは470メートル。美与底は古見村の同義語で対語になっている。この歌は1713年「大宜見長稔」が与那国目差役勤務中官命によって与那国島の人頭税輸送の大任をうけて航海中風雨に逢い古見の浦に避難し古見村の役人を始め村民等に手厚く介護され特に「ブナレマ」と言う美人の愛情に魅了されしばらく古見村の風光明媚に見惚た上いよいよ出帆となると二人の別離の焰は胸中にたぎり二人は手を握って涙と共に生木をさき折るが如く裂かれて長稔は後髪をひかれる思いで船中の人となったのである。長稔は胸中にたぎる焰は遂に爆発して悲惨なメロディーとなって涙と共に謡い出されたのである。これが有名な古見の浦節である。

(作歌・作曲 大宜見長稔)(八重山民謡誌より)

●クン ーラ ヤイダギ
古見ぬ浦ぬ 八重嵩ヤウ やいかさび 美与底 ヤウ

(古見の浦にそそり立つ八重嵩(古見嵩の異名)七重八重に重なる美与底)

スリヌ いついん 見欲しゃ ばかい ヤウ(何時でも、憧れの古見の浦を、見たいばかりに)

●サクラバナ
桜花 ぶなれーまヤウ 梅ぬ花 女童 ヤウ

(桜花のようなブナレマよ、梅の匂いのする可愛い乙女よ)

スリヌ いついん 花ゆ 咲かい ヤウ(何時でも、色香は春香のよういであつて欲しい)

●スディフ サトウシ
袖 降らば 里 子ヤウ 沈伽羅ぬ 匂い しゅうる ヤウ

(里主の袖からこぼれる匂いは、さながら沈伽羅製の沈香のようだ)

スリヌ いついん 染まる 匂い ヤウ(何時でも、私に染まって匂わせて下さい)

6のプログラム 6/12(水)会員卓話:西表浩司氏・国仲恵亮氏 6/19(水)会員卓話:西表浩司氏 6/26(水)納会

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

◇総会員数：57名（名誉会員2名・出席免除会員2名）

◇出席義務会員数：53名 ◇出席人数：32名 欠席人数：21名 出席率：58.49%

＜司会進行：新川正人・玉城一吉＞

◇ロータリーソング：君が代 奉仕の理想 ◇ソングリーダー：森田安高

◇メークアップ：石川尚吾 宮良幸男

【第12回理事並びに新旧合同理事会報告】

【第12回理事会】

- 1) 例会場昼食料金値上げについて：1食2,300円・最終の人数報告を月曜日の17:00にて承認
- 2) 収支決算報告について：承認 3) 事務局昇給について：承認 4) 6月プログラムについて：承認

【2024-25年度】

- 1) 次年度収支予算・会費値上げ（A案・B案）について：次年度第1回理事会へ再提案
- 2) 次年度理事役員・委員会組織図について：承認 3) 次年度年間計画概要について：承認

◆会長挨拶◆ 前原 博一



みなさまこんにちは

本日も例会に参加頂きありがとうございます。

いよいよ6月に入りました。そして6月の海神際「ハーリー」の石垣RC2チームの出場も見事に決まりました。内心ホットしております。抽選会の5月31日、夕方幹事から連絡が入りました。その時電話に出ることができず折り返したをしたのですが、一報の声が小さく「会長残念ながら2チームとも」と聞いた瞬間2チームとも外れたのかと思い話しをしていたのですが、「残念ながら2チームとも当選しました」と聞き、「え2チームとも当選ですか？と聞き直しましたが、「2チームとも当選です。良かったです。」とのことでした。

2チームとも出場が決まり、一気にテンションが上がりました。抽選会でのプレッシャーの中、見事に当選を引き当てた西表キャプテン、国仲キャプテン本当にありがとうございました。そして、抽選会を見守ってくれた今西幹事、ありがとうございます。早速来週の月曜日には決起大会、その翌日火曜日からは練習がスタートしました。

1回目の練習をしましたが、想像以上に体に堪えました、想像以上に入賞できるかもしれないと思うほどハーリーのスピードは速く順調でした。

当初の出場できることが目標でしたが、決起大会、練習を通じて玉吉監督の熱い思いもあり、不思議ではありますが、入賞したいと強い思いに変わっている自分に驚きました。

今回のロータリークラブ初のハーリー出場は、ロータリーが目的とするクラブ奉仕・社会奉仕・職業奉仕及び四つのテストの1つ1つを集約したものが詰まっていると思っています。

6月9日、出場する会員、そして応援する会員、石垣ロータリークラブ全会員が一体となって、初ハーリーを頑張りましょう。

以上会長あいさつでした。本日も宜しくお願い致します。

◆ 幹事報告:今西 敦之 ◆

皆さんこんにちは。いよいよ前原年度も最終月になりました。残すところ4回のみということでございます。最後まで気合いを入れて頑張っていきたいと思っておりますので、最後の最後まで宜しくお願いします。6月は親睦活動月間となっております。森田総合監督並びに玉吉監督からもお話がありましたように、親睦の輪を広げようということでございますので、このハーリー、何とでも一致団結して頑張るつもりです。ご声援の方、宜しくお願いします。

本日の幹事報告は1点でございます。

- 1) 本日、18時よりこちらのアートホテル2Fの会場にて、第12回最終の理事会及び新旧合同理事会を開催いたします。出席義務者の方は、時間が18時となっておりますので、時間に間に合うようにご出席賜りたいと思っております。以上、本日もよろしくお願いたします。

☆ 会員・委員会からの報告 ☆

松田新一郎社会奉仕委員長: 何度かご案内差し上げておりましたが、来週の6/12(水)例会の後に、社会奉仕委員会の事業として、竹富小中学校に「指田文庫」の図書券の寄贈しに行きます。ご参加の方は是非よろしくお願いたします。続きまして、献血事業となります。こちらは6/16日(日)石垣ロータリークラブが担当となっておりますので、献血された方には、卵を差し上げます。こちらは高校生も参加されます。ぜひロータリークラブの皆さんもご参加をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

国仲恵亮会員: 今年にはハーリーに出場いたします。昨日、初練習を行ってきました。新川漁港の方で、本来は20名揃ってするのですが、お仕事がある中で1槽だけ船を走らせて練習をしてきました。6/9(日)の本場に向けて練習が今日の15:00、明日、明後日が17:00、当日の本番に向けてケガのないよう最後の懇親会まで、宜しくお願いいたします。

玉吉秀庸会員: なかなか出席できなくて申し訳ありません。今回のハーリー出場は、ロータリーとして初めてです。先日の抽選会に今西さんと、私と、国仲さん、西表さんと一緒に行ってきた。もの凄く人で入れなかったんです。その中で抽

選するんですが、95 チーム中、75 チームしか当選できなくて、森田監督と私の監督が引かないといけないんですが、西表さんと国仲さんが当選を取ったんです。もの凄いことだと思いますので、この二人に拍手をお願いします。前原会長が挑む初めてのハーリー出場希望でしたので、形にしたいなと森田監督と話していて、出来れば経験者のチームをAチームに仕上げ、Bチームも、ローターは一つということで、合同で練習しようじゃないかと、昨日初めての練習をしました。森田先輩が漕ぎ方も教え方ももの凄く上手なので、総合監督として森田監督にしてもらって、選手兼の監督もしてもらいたいと思います。勝ちは大変なんですけど、とにかく怪我をしないこと、一致団結したロータークラブの強さをPRしたいなと思います。

森田安高パスト会長:Bグループの監督をします。抽選日には、大阪から帰って来る予定だったんですが、那覇空港が農務で発着に遅れが出ていて、乗る予定だった飛行機をキャンセルし、早く着く方法で来ましたが、それでも到着したのが19時でした。、キャプテンの西表さんはカジキ釣り大会でも優勝していて、運を持っているので彼に引いてもらうことで今西さんに連絡しました。ロータークラブがAもBも当選した結果です。昨日の練習で、最後の方では、少し様になっていました。やっぱり練習あるのみだなと思いました。でも経験者はタイミングが分かりますので、ハーリーはチームワークです。一人の力ではどうしようもないので、みんながエークを合わせてローターのチームが上位に上がることを皆さんに約束して私の挨拶といたします。

◆会員卓話：垣本 徳一 氏◆

(株式会社 八重山毎日新聞 代表取締役社長)

テーマ:八重山毎日新聞の歴史と主催事業について

会員の皆さま。こんにちは。

八重山毎日新聞社の垣本でございます。

平素より、皆さまには、新聞報道や広告ご出稿に多大なお力添えを賜り感謝申し上げます。急きょ、会員卓話をする事になりました。拙い話ですが最後までお付き合いいただければ嬉しく思います。まずは、生年月日 1961年(昭和36年)11月3日 波照間島生まれ 62歳

家族構成:長男(41歳)、次男(39歳)、三男(34歳)孫3名
91歳の高齢の母

波照間中学校卒業しまして

1977年(昭和52年) 八重山商工高校へ入学し、卒業と同時に1980年(昭和55年3月1日)付 八重山毎日新聞社へ入社。創業者の村山秀雄社長から最後に辞令を受けたこととなります。

2021年(令和3年7月1日)付 代表取締役社長就任 現に至る(早いもので44年が経過しました。)

初めに、弊社のPR動画をご覧ください。

まずは八重山毎日新聞の歴史の変遷

八重山毎日新聞の歴代社長をご紹介します。

八重山毎日新聞は1950年(昭和25年)3月15日、「南琉日日

新聞」として産声をあげた。終戦直後の米軍の占領下で、5人の方が、創刊に踏み切った。

まず、弊社の生みの親、村山秀雄が主導し、大浜信光、山根寅次、大嶺経太郎、宮良長欣氏である。宮良氏はのちに沖縄タイムスを経て、「八重山日報」を創刊した方です。

現在、八重山の新聞2紙の原点は、南琉日日新聞から始まったという事になります。

創刊はしたものの、厳しい経営環境が続き、1951年に村山秀雄個人が引き取り「八重山毎日新聞」として再スタートしました。制作の移り変わり

昭和36年当時の印刷工場。奥に映っているかたは、現、八島印刷社長の宮里剛さんの父親である、宮里師伴さんです。

その後オフセット輪転機に変わり、印刷時間短縮、鮮明な写真やカラー化になり、日進月歩で時代は進んでいきます。

写真は、1980年(昭和55年)6月1日輪転機(ハマダ製チャンドラー)。「火入れ式」でスイッチを入れる村山秀雄社長。村山社長は感極まり涙する場面が思い出されます。まさに「井戸を掘った人の恩を忘れるな」という思いでいっぱいである。若い社員にも村山秀雄社長が話した、不偏不党を貫けという事をしつかり伝えていきたい。

その後、2009年(平成9年)には現在の登野城へ新築移転。カラー印刷機(サテライト)を導入。先島で初め輪転機によるカラー印刷が可能となりました。

写真は、当時の渡嘉敷専務がスイッチを入れる瞬間です。

2009年12月に輪転機の老朽化で新輪転機を導入機種、ゴスジャパン製(米国製) 建てページ12ページ、4か面カラー、印刷速度最大、毎時25000部へとスピードアップ。写真は、当時の仲間清隆社長。満面の笑みを浮かべながらスイッチを入れる姿が印象的です。

現在の印刷風景です。動画をご覧ください。

巻き取り紙 メーカー王子製紙の北海道の苫小牧工場から購入。大きさは22.5レーンと言いまして、メートル換算すると一本当たり約12キロになり、重さは430キロです。

八重山毎日新聞社の主催事業

八重山毎日駅伝競走大会(1月)

初回大会は、1966年(昭和41年)11月27日開催
参加9チーム

1位:白保 A 2位:登野城 3位:伊野田 4位:八重山農林
5位:川平 6位:伊原間 7位:宮良 8位:新川 9位:白保 B
第5回大会までは従来の、3高校と字・公民間対抗で行われています。

その後10年間、復帰記念事業の石垣島一周道路工事のため中断。1980年(昭和55年)に復活した。

区間配置を一新し、中学男女、高校男女、一般男女、30代40代の改め再スタートを切った。ちなみに、復活大会は北が優勝した。

優勝回数は、最多の白保14回、与那国13回、登野城5回
真栄里4回、波照間4回などです。

写真は旧本社前の中学生のスタート昭和58年11月27日。

もうすぐ一年生園児と父母の集い(2月)

この春に小学校に入学する一年生を祝福し、楽しい学校生活を踏み出されるよう応援する企画です。今年で40回を迎えました。

劇団四季石垣公演、招待公演(3月)

芸術文化に接する機会の少ない石垣市において、社会貢献の一助として「劇団四季ファミリーミュージカル公演」を引き受けてきました。2005年に第一回を開催し、今年19回目となり、今年の演目は、沖縄にもゆかりのある「ジョン万次郎の夢」。翌日は、石垣市内の6年生を対象に招待公演を行った。これも、地域に生きる、社会貢献の一部です。

花と緑の街角コンテスト(3月)

この企画は、弊社とメイクマン石垣店が共催で開催している企画です。今回22回目を迎えました。街角美化運動を推進してまいります。

皆さんの事業所や自宅の花壇を紹介したい方は、一報いただければ幸いです。2年前には、新川社長の八重山港運を職場の部で表彰させていただきました

素敵なお母さんの図画コンクール(5月)

5月の第2日曜日の「母の日」にちなみ、企画。今回32回目を迎え、イオン琉球と沖縄共販の特別協力で行われています。入賞作品は、マックスバリーの各店舗で展示されています。

八重山古典民謡コンクール 審査(6月)

正確な八重山古典民謡の伝承普及を図り、新進歌い手の発掘や後進育成の場とし、八重山の音楽文化の発展向上へ寄与するのが目的。10名の審査員が厳正に審査する。奨励普及賞、新人賞、優秀賞、最優秀賞がある。

明日、審査委員会を開き、7日から9日まで三日間審査を行う。1975年スタート、今年48回目を迎える。

昨年、第47回の合格発表の瞬間です。

八重山古典民謡コンクール 表彰式・発表会(10月)

6月の審査に合格した人の晴れの舞台、発表会です。研鑽を積んだ芸を披露してもらいました。以下、写真特集です。

八重山毎日新聞社杯職域クラブ対抗ソフトテニス大会(10月)

八重山ソフトテニス連盟の主管で10月に開催しています。A、B、C クラスに分かれ、中学生から壮年までの幅広い年齢層が頂点を目指します。昨年大会の結果です。

軟式野球選手権大会 夏季(7月) 秋季(11月)

八重山野球連盟と共催。夏季7月と秋季11月の年二回、クラブチームの頂点を目指す。8年前からは成年の部(40歳)以上も設けている。

八重山毎日新聞社杯ハンドボール大会(8月)

八重山ハンドボール連盟の主管で開催し、今年36回を迎える。小学校、中学校男女、高校・一般の部で行われ、頂点を目指す。

昨年の大会から。八重山毎日文化賞(11月3日発表)

八重山研究や芸術文化の振興に顕著な業績を上げられた人

を顕彰する事業。

今年40回の節目を迎えます。昨年から地域で活動する団体やサークルをたたえる「活動賞」新設した。

八重山で最も権威のある賞で、弊社の顕彰事業の柱でもあります。

出版事業 「新石垣空港物語」

出版関係では、2012年～本紙連載の八重山群民30年余の苦悩と闘いの軌跡を再構成。当初2000冊印刷。多方面から大きな反響を呼び増刷。書籍販売が低調な状況下では一定の評価を得た。まだ、在庫がございますので興味のある方は弊社までお問合せいただきたい。

八重山で最も多い姓

石垣市民課が2000年にユニークな調査結果を発表した。

(姓のベスト30)で ①宮良 ②金城 ③砂川 ④石垣 ⑤大浜 ⑥平良 ⑦下地⑧玉城 ⑨上原 ⑩上地 ⑪新城 ⑫大城 ⑬宮城 ⑭比嘉 ⑮黒島 ⑯山城 ⑰友利 ⑱新垣 ⑲川満 ⑳与那覇。となっていて、調査から24年が経過しているのに、順位に変動があるかもしれません。

いずれにせよ、八重山は「合衆国」を裏付けた結果となっている。それから、奇抜な広告がございます 1967年4月掲載されたものです。

「泥棒君へお願い」のタイトルで広告形式となっている。内容は割愛しますが、広告主は、琉球銀行八重山支店支店長の真栄田繁とあります。真栄田氏は、1966年7月に石垣ロータリークラブへ入会しており、私の憶測ですが、村山秀雄社長はロータリークラブのチャーターメンバーで活躍していた関係上、財政的に厳しい新聞社への広告出稿を依頼したのではないかと考えます。比嘉支店長には、真栄田氏のご存命かどうか含め調していただけるとありがたい。

時間があるようなので、私のこれまでの競技人生 と趣味

波照間中学校の2年生から長距離走をはじめ、八重山地区中体連の駅伝大会へ出場。3年時には初優勝を飾りました。その後 2年連続で優勝し3連覇を達成。離島校が3連覇したのは波照間中学校だけ。

監督は佐久川勲先生。メンバーの中には、竹富町議会議員の東金嶺肇や今年の箱根駅伝で日体大のアンカーを走った大仲竜平君の父親も含まれています。

当時は、3連覇しても優勝旗は貰えず、選手がお金を出し合い、記念の優勝旗を母校へ贈呈致しました。昨年、母校をロータリークラブで訪ねた際、校長室へ飾ってあり、感無量でした。

これまでの自己記録や各種大会での優勝など

・これまでの記録

5000メートル 15分50秒 10000メートル 32分50秒
20キロ 1時間9分11秒 フルマラソン2時間42分40秒

・トライアスロン石垣大会

スイム1.5キロ 25分50秒 バイク40キロ 1時間14分50秒

ラン 10キロ 38分10秒 合計 2時間18分50秒

(2年連続地元1位、総合11位)

・トライアスロン宮古島大会

スイム3ロ 51分50秒 バイク155キロ 5時間05分

ラン 42・195キロ 3時間32分

合計 9時間32分(総合176位、沖縄県勢7位)

八重山地区での各マラソン大会では、八重山マラソン、ヤマネコマラソン、与那国マラソンをすべて制覇することが出来ました。

そして、最大の目標だった、九州一周駅伝大会へ沖縄県代表として走ったことが最高の名誉だと思っています。

残念ながら、現在では同駅伝は廃止となっています。

別の趣味。

電灯潜りです。私の相棒、りょう号3名乗り

船の検査が切れていますので乗れませんが、この相棒と一緒に

に石垣島の北部平久保の離れ島や、石垣島の東海岸を中心に泳いでいました。

これが、その仕留めた魚、タコ、クブシミ、伊勢エビなどです。

タコは20年ほど前、寒い1月2月頃は大量に取れました。

結びになりますが、八重山毎日新聞社は来年3月に創刊75周年を迎えます。大変厚かましいお願いですが、周年事業を企画していますので、弊社営業マンが事業所を訪問の際は暖かく迎えていただきたくよろしくお願いします。

以上ですが、弊社のスローガンの通り「視野は世界 視点は郷土」をモットーに、今後とも読者が常に時代の息吹を感じて戴けるローカル色豊かで、読者と歩む紙面づくりに邁進する所存です。拙い話に最後までお付き合いいただきまして、誠に有り難うございました。

1994年(平成6年)11月15日(火曜日)
八重山毎日新聞 1994年(平成6年)11月15日(火曜日) (6)

垣本男子 田島女子が初優勝

第2回与那国島1周マラソン



120人が24キロに挑む
選手ら、炎天下に悪戦苦闘



垣本徳一会員 卓話ありがとうございました。



本日のニコニコ: ☆前原博一会長:6/9 ハーリー応援よろしくお願いします。

☆今西敦之幹事:垣本委員長、本日の卓話よろしくお願い致します。ハーリー大会出場に乾杯!上原晃子 PP、ラジオでの宣伝ありがとうございました。 ☆上勢頭保氏:垣本氏の会員卓話に感謝。9日のハーリー出場決定おめでとうございます。

☆宮城早人氏:ハーリー大会での皆様のご活躍を祈念しておりますプレー!プレー!プレー!

☆新川正人氏:垣本さん、卓話ありがとうございました。 ☆垣本徳一氏:拙い卓話にお付き合いいただき感謝です。

☆大田次男氏・外 7人:飲み会の残金をニコニコします ☆国仲恵亮氏:垣本会員、素晴らしい卓話ありがとうございました。決起大会でのおつり810円を残金ニコニコさせていただきます。当日は完漕できるように頑張りましょう!

◆BOX8,310(累計¥559,750) ◆コイン¥2,212 (累計¥57,220) 合計¥616,970

6月

黒島栄作氏 3日(月) 新城永一郎氏 10日(月) 前原博一氏 22日(土) 中山義隆氏 26日(水)

